

7月02日から8月16日まで、沖縄へのクルージングに行ってきました。

今回のクルージングで新たに増設、積み込んだものは簡単な自作「ドジャー」、BSデジタルテレビ、パラボラ・アンテナ、港湾案内H812W, 海図231, 182B, 225, 226。

往路については、「そこのけ」の小島さんが寄稿されるとのことですので、帰路の航海模様を記します。

皆既日食も終わり、沖縄の「宜野湾マリーナ」を7月23日(木)に出港することにしました。沖縄に着き、他のメンバーが帰り、ひとりになったら、急に寂しくなり一日も早く武豊へ帰りたくなりました。途中のトカラ列島の「宝島」への入港は26日以降になるようにしました。大きな理由は7月19日から25日まで「宝島」の物価が日食で大勢の人が訪れる為に二割増しとの事を往きに島内放送で耳にしました。この日の日食について、トカラ列島の島々の対策について、いろいろな事を耳にしました。詳しい事は省きます。

7月23日(木) 05時30分 起床、朝食はボタージュスープ、パン 目的地は「伊江島」の「伊江港」

06時 「宜野湾マリーナ」の棧橋を離れる。風は南南西6~8m 時々白波が立つ、セールはNO3ジブだけアビームからクォーター、機帆走で6ノット前後を常にキープ。11時過ぎに「伊江港」入港 往きに係留した所に舫う、しかし、その後、漁師さんが来て、うちの漁船が帰って来るのでその場所を移動してほしいとのことで、移動する。本日の移動距離は28.57マイル

13時30分 港の案内所へ行く。12時30分発の島内案内のバスがあったが間に合わず。3500円で軽自動車のレンタカーを借り、島内を観て廻る。「城山」へも登り眺望は最高でした。その後、民宿でシャワーを無料にて借り、そこで500円の生ビールを飲む。ヨットへ帰って昼寝。18時40分、ボンカレーで夕食を済ます。20時ごろ、近くの岸壁で照明のテストをしている漁船があり、見に行くと、5~6人で岸壁で宴会中、誘われて、中に入る。マグロの心臓、など日頃口に出来ない料理をご馳走になる。もちろん、ビール付きです。30分ほどで失礼をする。来る船は拒まず、ウエルカムとのこと、必ず居る人に声を掛けること、出て行けとは言わない。楽しかった夜でした。オリオンの缶ビールを2本ご馳走になりました。

7月24日(金) 05時30分 起床 朝食記載無し多分 パン、コーヒー? 目的地「沖永良部島」の

「知名漁港」往路と同じ 06時 「伊江港」を出る。風は昨日とほぼ同じで南南西7~8m NO3ジブの機帆走、アビームから真ランあり、波悪し、うねり有り非常に走らせにくい。しかし、視界が良く気分良好。沖縄本島の北端の「辺土岬」沖でどこかの調査船と行き会い、国際VHF16chで交信をする。06chにて調査船は当方の300m手前で停止するとの事でした。「伊江島」近辺でもフェリーと交信することがありました。15時15分 「知名漁港」入港。本日の移動距離は57.07マイル。 往きに接岸した所へ着けようとしたら、西の風なので、岸壁の東側へ、そして、波の来ない所へと、地元の漁師さんが誘導してくれ、舫いロープまで取ってくれました。

風呂は往路の時と同じく、ホテル横の一般、地元の人達も利用できる大きな浴場のある〇〇〇センター?名前は忘れしました。

7月25日(土) 05時30分 起床 昨夜も漁師さん達からお誘いの声が掛かり、岸壁で飲む。皆さん

自宅から酒のつまみを持って来て、何の刺身か?いろいろな物がありました。それで、朝、少々アルコールが残っていました。朝食の記載なし。本日の目的地、奄美大島の「古仁屋港」 06時 「知名漁港」を出る。

風は昨日と変わらず、南西7~8m、セールも同じ、機帆走 フリー、波、うねりがあり昨日より走らせにくい。途中、32フィート前後の「カタマラン」とミーティング。真向かいの風の中を機走で「沖縄」方面へ走らせていました。ひとごとでも、この風の中を私はイヤです。しかし我々の往路と同じ状況です。

17時30分 「古仁屋港」着。本日の移動距離 69.07マイル。 往きに「ラグーナ蒲郡」からの夫婦のヨット、まだ係留中。そして「宜野湾マリーナ」で最初に舫いロープをとってくれた、岡崎ヨット製の「パ

イオニア」に乗っている堅物そうなおじさん。二艇が入っていました。夕方、銭湯へ、帰りに夕食を兼ねて居酒屋へ、2600円 マアーマアでした。22時ラジオのニュースを聞きながら寝る。明日の予定は「加計呂麻島」でヨットが係留できる民宿で一泊すること。

7月26日(日) 06時 起床 ここ、奄美大島の「古仁屋港」は鹿児島県ただ一つの「海の駅」との事、埋立地で河口に出来た「入り江」です。その係留する場所には「外来艇」専用で、地元の人は係留をご遠慮下さいとの看板もありました。係留用のステンレスのリングも、水道もあり、リールのホースまで付いていました。2~30mの所にトイレもあり、地元民の憩いの場所、その一角には立派な土俵場もあり、土曜日の夕方から夜10時まで、チビッコ3~40名が集まり、大人達が指導をしていました。今回の航海では一押しの場所です。瀬戸内町の町長さんがヨットに理解ある方とのことを耳にしました。また、ここ「古仁屋港」は「大島海峡」内にあり、対岸は「加計呂間島」です。風光明媚なところです。08時コインランドリーへ。その後、軽油を36リットル購入。配達をしてくれました。09時、開館と同時に、すぐ近くの観光案内所へ行き、「加計呂麻島」でヨットを繋留でき、宿泊できる民宿かペンションを紹介してもらおう。島でヨットを持っており、シュノーケリング、ヨットセーリング、サンセットクルージング体験ツアーなどの観光案内業の「ブルーウォーターアドヴェンチャーズ加計呂麻」の「谷」さんを紹介され、すぐ、電話をする。話は直ぐ決まりヨットを出す。その場所は対岸の「生間」(イケンマ)と言う所、30分程でその港へ入港、すでに家族全員で待っていて、舳いロープを取ってくれました。小さな港ですが、四艇、岸壁にやり付け繋留してありました。現在一艇上架しており、その処へ「くんてる」は繋留しました。その港の近くの民宿は予約できず、「谷」さんの知り合いのペンション「ホライゾンクラブ」に決める。港から車で5~6分程。このペンションのオーナーが上架しているヨットのオーナーとの事。近くの「スリ浜」と言う所のレストランで「谷」さん家族(奥さん歳?、4歳?、6歳?男の子供)と「カレーライス」、冷えた生ビールで昼食。「加計呂間島」へ入った事を「園」くん連絡をする。「園」くんら「とり為」で食事中。17時、ペンションのオーナーが車にてヨットまで迎いに来てくれる。シャワーを浴び、18時から夕食、私は一人のため、ご主人が食事中、話の相手をしてくれる。私は久しぶりの会話で、また、相手も同じ趣味なのでいろいろな話で、ビールが進みました。

7月27日(月) 06時30分 起床。久しぶりに揺れないベッド、熟睡できる。ペンションの付近を散歩。8時 朝食 本日は「古仁屋」へ戻り、明日28日の「宝島」への準備。ヨットまで、ペンションのオーナーに送ってもらう。オーナーは「古仁屋」の港の近辺にヨットの整備のため上架中、これから整備に行くとの事でフェリーにて一足先に出発する。9時30分「生間港」出発、10時15分「古仁屋港」着。「加計呂間島」への往復距離 5.61マイル 到着後、ペンションのオーナーのヨットを見に行く。艇は「なかよし30」エンジンは積み替えたとの事、バウ・スリップも取り付け雰囲気は「クルージング・タイプ」に見えました。毎日「島」からフェリーにて通うのは大儀なので、近日中に下ろすとのことでした。昼食後は艇内にて昼寝。夕食は近くのA・コーポで刺身、冷えたビールなどを買う。

私の前に繋留している「オカザキ33」のオーナーと話をする機会があり、船籍は「香川」、オーナーの住民票は「神奈川」、ホームポートは無し、定年後、毎年この近辺をブラブラしていて、春先に沖縄に入るとの事世の中、いろいろな人がおり、年齢は聞きませんでした。7年前に、定年を向えたとのこと。帰る所なしか?

7月28日(火) 4時30分 起床、湯を沸かし簡単な朝食。5時20分 出港 まだ暗い、航海灯を点ける。本日の目的地は「宝島」途中07時30分ごろ、「大島海峡」の出口にて、強烈な雨、北からの風、視界悪し、良いところなし、そのため、この先約60マイルは、途中避難する港も無く「宝島」へは無理と思い。今朝出てきた港へ引き返す。8時30分着。今まで天候に恵まれすぎていたようです。本日の走行距離 18.46マイル その後、10時09分のバスにて「名瀬」の街を見物に行く。片道1550円。レンタル自転車にて「名瀬」の街並みを俳諧する。昼食は「回転寿司」で生ビール2杯。14時30分のバスにて帰る。少々疲れる、ヨットにて昼寝をする。18時頃、銭湯へ行き、帰りに「とんかつ弁当、ビール、カップラーメン

ン、氷」など買う。夜、「園」くんに引き返したことなど、報告する。明日の予定は「宝島」へ。19時、こちら「奄美大島」はきれいな夕焼けです。「名古屋」はまだ梅雨が明けてないとの事。今年の天候は少し変ですね。

7月29日(水) 4時に目が覚める。簡単な朝食 出港の準備をする。目的地「宝島」約70マイル 出港する前にすべきことを、箇条書きにする。

1. オートパイロットの設置、(リモコン含む)
2. ライフジャケット、ライフベルトの着用
3. GPSの設定、(コックピット用、船内用)
4. コックピット用クッションの設置
5. 舳いロープの整理
6. エンジンの排水チェック

これから出港する時は最低限、これらの事を確認するようにするために「航海日誌」に書留めました。

5時15分 出港 風弱く、前夜は満天の星空、きれいでした。午前中5~6m、南南西の風、午後から7~9m、白波が立ち始める。クオタリーから真ラン走らせにくい。しかし私の「ようこ」さんは良く働いてくれます。16時20分「宝島」着。前回、接岸した所が空いていたので係留したら、その場所に税関の船が入るとのことで「ななしま」に横抱きをさせてもらう。島の「銭湯」へ行くも本日はお休み、曜日によって休業あり。

沖縄からの復路は本日までフリー、もしくはア・ビームでした。本日は西の風が多く、また進路は0度。真北でしたが、明日からは針路は40~45度どんな風が吹くのか?

7月30日(木) 4時45分起床 朝食 クリームパン、スープ 5時15分出港、目的地「口之島」の「西之浜漁港」、約60マイル。昨夜の天気予報では北東の風が吹くとの事、最悪です。出港時は真上り、9時頃から真正面からの風になり、ジブを下ろす。その後、すべて機走。16時15分「西之浜漁港」へ、本日の走行距離 63.27マイル。民宿「はまゆう荘」の真前の岸壁に横抱きをする。300メートル程の岸壁ですが、一隻地元の漁船が係留されていました。今夜はその民宿で泊まる予定です。一泊二食で5500円。民宿で洗濯もさせてもらう。水ボトル520mlを24本もらう。日食の観測旅行のために近畿ツーリストが島の民宿に配った物の残りです

夕方、20メートル前後のモータークルーザーがトローリングを終えて入港、福岡の船籍でした。夕食後、そのクルーザーからお誘いがあり、そこでまた、飲む、「まぐろ」のたたき などおいしかったです。

今夜は「はまゆう荘」の畳の上で熟睡です。

7月31日(金) 7時起床 宿にて朝食 本日の予定は「口之島」の島内観光、民宿の軽自動車を燃料込みで5000円で借りる。その車で島内の「露天風呂」へ行く。小さな島なので半日もあれば充分でした。牛が放牧してあり、道路上牛の「糞」だらけでした。高台へ登ると、遥か「屋久島」、「トカラ列島」が見えました。昼過ぎに、「宝島」に停泊していた「ななしま」が入港。その船長と2時間くらい雑談をする。いろいろな話をしました。衆議院選挙の前でしたので、「民主党」が補助金(離島対策費など)をカットするかもしれないと、島の人達は心配をして、どちらの党へ投票してよいのか、悩んでいるとの事でした。島民にとっては切実な問題です。エンジンストップのワイヤーが停止後、戻らなくなり、(引っ込まない)今後エンジン停止は本体側で停める。後日、新品に交換。ワイヤーを調べたら、中で錆びて固着していた。

夕食はヨットでボンカレーで済みます。20時頃、モータークルーザーからお誘いが、明日の予定を説明し、丁寧にお断りをする。今から思うと、「かつおのたたき」だけでもご馳走になっておけば、よかったかな!!

8月01日(土) 4時50分 起床 朝食 ポタージュ・スープ、沖縄の「油揚げパン」

5時10分出港、本日の目的地 種子島の「西之表港」の旧港。6時30分頃、風落ちる、また、真向かいのため機走だけに。途中、5時30分「口之島」着のフェリーと行き違う。12時15分「屋久島海峡」を通過

潮に乗ったのか、7～8ノット。しかし、それまでは反流のためか船足は進まず、燃料の消費が今までと比較すると速く感じられる。北へ行くほど雲が多くなる。しかし、涼しい。あと、27マイル、約6ノットで5時間位か？16時30分種子島の「西之表港」入港 本日の走行距離 73.41マイル。係留した真前にガソリンスタンドがあり、軽油64リットル購入、ついでにトイレと水を深夜、早朝でも使用させてもらいたいとお願ひし、OKをもらう。夕方、「種子島黒潮ヨットクラブ」の人が来訪。市長、観光協会、観光課などへヨット泊地の新設などを要望をして欲しいとの事、図面は立派なのが出来上がっていました。夕食は近くのコンビニで、寿司、ビール、氷を買う。20時ごろ、銭湯が無いので、付近のホテルの「サウナ」へ行く。1500円なり。帰ってから焼酎をロックで飲む。何か「トカラ列島」を過ぎたらホットしました。

この港は4年前にフェリーで入りましたが、その時は新港の方でした。こちら旧港の方が落ち着けます。

今回、係留した所は九州電力の発電用の燃料油の陸揚げ用の岸壁とのこと、空いている時は自由に使用できるとの事。このような場所が各港にあると、助かります。「武豊港」の場合、このような場所あるかなー？今晚もヨットで寝ます。

8月2日(日) 4時40分 起床、近くのガソリンスタンドのトイレを使わせてもらう。 本日の目的地「油津港」、いよいよ本土九州です。「沖縄」に滞在している時、あー、ここが九州だったら、楽なのにと、何回思ったことか。5時10分出港、機走。本日も北東の風、真上り7時頃から7～8m白波が立ち始める。その後、少し風は落ちる。「種子島」の北端、非常に波悪し、その後、沖だし出し、7ノット前後をキープし、一路「都井岬」をめざす。13時45分「油津港」到着。往路の時と同じ所の岸壁に横付けをする。本日の走行距離 57.03マイル 軽油18リットル購入。夕食は何時もと同じパターンです。

8月3日(月) 4時30分 起床、5時20分 出港 目的地 「門川漁港」 60マイル

風は本日も向い風、機走のみ 天気 晴れ 北風のため涼しく過ごし易い。しかし「もや」がかかり、視界は悪く、陸はうっすらしか見えず、GPSのみ頼り。明日もこの北風が吹けば、「土佐清水」までは楽なのにと？午後から、風は強まり、スクールあり、視界は更に悪くなり、おまけにペラに「藻」が付き、難儀な一日でした。15時30分「門川漁港」に入港。前回と同じ所へ舫う。漁協の許可も貰う。素もぐりでペラの「藻」を取り除く。近くで氷を積み込んでいた漁船がいたので、「なべ」を持ってもらいに行く。相手の勢いがよく、お金のことは言うのは失礼と思ひありがたく貰う。エンジンオイルを少々継ぎ足す。夕食はビールとボンカレー。前回入った時、浮き桟橋があり、その所に「ナウ・キャット35」が係留されていて、我々は前回断られたのにどうしてそのヨットが良いのかオーナーに聞きに行きました。電話にて係留を頼んだとの事、頼んだのはオーナー夫人だそうで、頼む時は、むさ苦しい年をとった老人より「ご婦人、女の人」の方がよりベターですネ。ちくしょう。「ナウ・キャット35」も明日は「土佐清水」とのことでした。

8月4日(火) 4時30分 起床、5時05分出港 まだ、暗く航海灯を点ける。本日の目的地「土佐清水港」約70マイル、港外にて「ナウ・キャット35」を前方に確認をする。クローズドリーチ、機帆走、風4～5m、約6ノット前後か？昼頃から7～8m、真向かいに変わる。「清水港」へは二回、「足摺岬」側から入港したが、今回は西からのため、見た目が違い港への入り口が見つけにくかったです。係留場所は前回と同じ場所です。本日の走行距離 69.51マイル。軽油43リットル補給 4644円なり。そのスタンドで「水」を使わせてもらう了解を得る。夕食後、「ナウ・キャット351」(ANN LUCIA)のご夫婦と飲む。ホーム・ポートは「葉山マリーナ」の隣とのこと。定年になったので、もっと、お値打ちなマリーナを現在物色中とのこと。御両人の夢は海外へのクルージングだそうです。21時30分散会。台風の影響か？今ひとつ天気がはっきりせず、「くんてる」は4～5日、「清水」止まりか？

8月5日(水) 今朝は良く寝れました。天気くもり、今にも雨が降りそう。「室戸岬」、「足摺岬」は東北東10m前後の風、いつまでこの風が続くのか？「富山」さんから台風の情報を聞く。BSデジタルTVの「デ

一タ放送」で天気図などを確認をする。今日は1日のんびりします。

朝食は昨日、大阪から沖縄の「座間味レース」を終えて寄港していた45フィート前後のレース艇にコーヒーをご馳走になりパン持込で、オーナーと雑談をしながら食べる。「三島レース」にも参加の予定であったが、台風7、8号のため、中止とのこと。「瀬戸内海」経由で9時頃、出港。10時 コイン・ランドリーへ洗濯300円、乾燥200円 道中すごい雨に遭遇する。今日の夕食は「焼肉」が食べたくなり、材料を近くのスーパーへ買出しに行く。久しぶりの「肉」、沖縄でステーキを食べた以来です。しかし、一人で食べることの惨めさ、以後、料理を作る事はなるべく、しないようにしました。1日中、雨時々強く降る。出港しなくて、良かったです。

8月6日(木) 6時、目が覚める。今日もここ「清水」で待機。相変わらず夜中、すごい雨、風でした。電話で気象通報を聞くと「沖ノ島」、「足摺岬」、「室戸岬」9~10m、北東、東北東の風。06時の時点で気圧が1p h、上がった。相変わらず、雨が降ったり、やんだり蒸し暑い。午前中近くの「本屋」さんへ行く。「釣りの本は多く有ったが「舵」誌は無かった。午後午前中と同じくはっきりしない天気。

8月7日(金) 朝方、用足しのため、起きる。空には久しぶりに月が出ている。何日ぶりかの月、今日から良い天気になるのではないかと6時、起床。天気。晴れ、漁船も出漁のため多く出て行く。気象通報を電話で聞く。4時55分現在、「足摺岬」南南東の風2m、1010h p、「室戸岬」南東の風4m、1010h p。これならば本日出港可能であるが、「うねり」を考え、もう一日遅らせ、明日8日(土)5時、出港予定。11時キャビン内の「マット」など乾かす。午後3時頃から「高知ヨットクラブ」のヨットが四艇入港。地元「あしずり祭り」で地元の人達の体験乗船の催しのために、約65マイル先から駆けつける。

8月8日(土)4時30分 起床。5時出港 まだ薄暗く航海灯を点ける。現在まで係留していた場所は、今夜、「あしずり祭り」の行事で「花火」が上がり、その観覧席になっているため、夕方には移動しなければならず、出発を本日に決めた理由のひとつです。風は「足摺岬」までア・ビーム。6~7m、それ以後は真上り。黒潮に乗ろうと思えば「室戸岬」へのプロパーコースより沖だしをする。途中7~9ノットで気持ちよく走る、「潮」の力は凄いです。平均6~7ノット。潮と風の向きが逆のため、それに「うねり」が有り大変走りづらい。セールを揚げていけば、セールの勢いで波も通過し易いが、パンチングが激しく非常にコース維持が難しい。マア、天気が良かっただけ、救われました。また、「足摺岬」方向からのアプローチなので「室戸岬港」の入り口が判りにくかったです。16時15分入港、走行距離75.54マイル。係留していると、地元の人いろいろ係留についてアドバイスをしてくれる。また、現在、停めているこの港について、話してくれる。正式な港湾ではなく、選挙があるたびに、何か施設ができるとの事。どうりで地元の漁船は一杯も係留していませんでした。また、このおじさん、自宅へ戻り、インターネットで一週間分の天気図をプリント・アウトして持ってきてくれました。「富山」、「伊藤」さんらから天気のアドバイスの電話、多数回あり。深夜豪雨。

8月9日(日) 早朝凄いい雨、本日も出港は取り止め。とても走れる状態の海面ではない。「保安庁」発表の気象通報では「室戸岬」11mの北東の風、2~3日ここでの待機を覚悟をする。ラジオで熱帯低気圧が「四国」へ明日の朝、直撃。昼頃「伊藤」さんから熱低が台風になるとの電話。湿気のためか?DC/ACコンバーターが故障。テレビを観る事ができず、「代替品」を買いに雨の中、徒歩30分程の「ヨネリ」にて350Wのを見つけ購入。夕方、コンバーターの動作テストを兼ねてデーター放送の天気図、台風情報を見る。機器は動作良好。しかし、四国沖の熱低は「台風9号」になるとの情報。8号が西へではなく北北東へ進んでいる、まだ、勢力は強い。当面は四国沖で台風になる9号が非常に気になる。19時頃、地元のヨットマンから台風が来ると不安だから、「漁港」の中に入れなさいと誘いがあり、緊急避難ということで、狭いながら中の岸壁に横抱きをする。21時頃作業終了。ここならば、安心!

8月10日(月) 夜半、早朝時々 大雨 「台風9号」10日 03時現在 針路 北北西 20ノット 994hp、風速18m。12~3日には三陸沖へ。データ放送の予報では11日(火)「潮岬」波5mのうち2.5m「うねり」を伴うとの予報。後ろに係留している漁船の乗組員ら、その漁船にて作業中、彼らインドネシアからの出稼ぎです。21歳、4人乗船をしていました。片言の日本語で世間話をする。三陸沖まで「かつお」を捕りに行くとの事。「油津港」での漁船にもインドネシアの人達が大勢乗り組んでいました。近くで軽油を買うモーターボートがあり、ついでに少しでも、売ってくれるかと聞くとOKとの事、27リットル、2900円なり。これで、ポリタンを運ぶことが無くなって助かりました。一声かけてみることですネ。18時すぎ、「園」君から電話、今後の予定を話し合う。このまま順調に行けば、12日(水)の昼頃「勝浦」へ入る事が出来そうなので「勝浦」で合流する事を決める。

8月11日(火) 4時30分 起床 カステラ、コーンスープでの朝食。5時出港、本日の目的地「すさみ港」。台風避難のため2~3m位しか前後の船との間隔が無く、離岸するのにボート・フックを使い何とか他の船にぶつからずに離れる。風はクータリからア・ビームが2時間くらい続き、その後、前に廻り、8時40分現在機走のみ、6~6.5ノット。「すさみ」まであと47.7マイル 天気 くもり時々晴れ。ラジオで静岡方面での地震のニュースを聞く。9時頃から南東の風、クロズド・リーチからア・ビームの風、5~7m 「宝島」以来の南系の風です。VERY GOOD!! 16時「すさみ港」着 走行距離 71.87マイル 風呂は先回利用した「国民宿舎」400円、夕食もそこで「お造り定食」生ビール2杯。歩いてヨットまで帰る。ここしばらく歩いて無かったせいか、疲れる。19時30分 ヨットに着く。21時、空を見上げる。ひさしぶりの良い天気。満天の星、この星空を見ながら、若かりし時の事を思い出しました。…………… 明日は「勝浦」、「園」くんと再会です。

8月12日(水) 4時30分 起床 カステラ、コーンスープで朝食 5時出港、天気 くもり風弱く、セールは揚げず、機走、7時25分「潮岬」通過、追い潮に乗りピークで9.5ノット、しかし岬を通り過ぎると、6ノット前後、ひとまず難所を通過でき、なによりです。今回は「串本港」へは寄らず、通過をする。何年前、「徳島」から「武豊港」への帰りに強風のために一週間、ヨットを「串本港」へ置いてきた事が思い出される。10時15分 「勝浦」へ入港。以前着けた所へ、しかし、この場所はホテルへの荷物の上げ下ろしのため、20mほど奥へ、作業員の方たちが手を貸してくれて移動する。本日の走行距離は34.46マイル。午前中、軽油の補給、コインランドリーでの洗濯。「園」くん、12時57分着、駅に迎えに行き、帰りに昼食、生ビール二杯、まぐろ丼で 一人 2000円。明日は「尾鷲」の東側の「引本港」の予定。それで以前、「フェア・ウインドウ」が利用した民宿の電話番号を「菊池」さんに聞く。残念ながら目的の民宿は、ポンツーンが短くなり、水深が足らず、断られる。夕方、近くの「銭湯」へ、その足で「焼肉」、ビールで夕食。

8月13日(木) 5時30分 起床 6時 出港 二人での離岸は非常に楽です。本日の目的地「引本港」約40マイル先。天気 晴れ 西の風 5~6m 時々白波が立つ。「引本港」の一番奥まで行く。係留するのに、適した場所なく、戻る。途中の広い岸壁に横付けをする。その岸壁の真前に「まさ丸」と言うレストランが有り、冷えたビールを飲む。夕食とシャワーの使用をお願いをする。昼食には「そうめん」と「鯛」の煮付けビールのすすむこと。17時 シャワーを借りる。18時夕食 豪華ではないけれど、手の込んだ料理、私達には、充分でした。一人2500円 ビール4本飲む。ヨットを止めている近辺には、家族連れ「釣り」客が多く深夜までにぎやかでした。

8月14日(金) 5時起床 5時50分 離岸 本日の目的地「的矢港」約50マイル 天気 快晴、風 5~8m、真上りからリーチ、所によって、「うねり」「波」潮の流れの強い所あり。乾燥した風、見通し非常に良く、遠く「布施田水道」も視認できる。走行距離 46.60マイル。本日の宿泊は旅館「浮島」が満杯で予約できず、他の宿で泊まる。その為、係留は棧橋ではなく、アンカーを打ち槍付けにする。夕食後、

久しぶりに、「スナック」へ。「カラオケ」を2〜3曲歌い、その後、無事帰館し、就寝

8月15日(土) 6時 起床、ヨットを見に行く。7時40分 朝食、曇の上でしかも、温かい味噌汁、ご飯、たまご、おしんこ、など、久しぶりに豪華な朝食。9時、出港 今日**KYC**の「夏のパーティー」それで「ラグーナ蒲郡」へ直行。もう一週間程、早く「武豊」へ帰港するつもりでしたが、途中台風に遭遇したために、偶然、このような日程になりました。12時30分「西浦沖」で「そこのけ」とミーティング、久しぶりの面々、船上で冷えた「ビール」の差し入れ。今回のクルージングは終りになりつつあり、後は「パーティー」と「レース」のみになりました。15時05分 ラグーナ入港 本日の走行距離 36.99マイル

8月16日(日) 7時 起床 本日は8月の「ポイント・レース」 8時55分 予告信号

久しぶりのレース(二ヶ月ぶり)です。風弱く、楽なレース、しかもスピンの上げず。成績も満足いくものでした。無事「武豊」へ帰ってくる事ができました。往路、同乗してくれた「中川」「小島」「園」さんら、と同じ思い出を持たれたことを、うれしく思っています。この経験は私の「財産」です。また、道中、いろいろな情報、アドバイス等して下さった方達、有難うございました。